

丹波篠山市教育長 様

丹波篠山市立城東小学校長 木村 暁

学校運営協議会について、次のとおり報告いたします。

第 4 回 城東小学校運営協議会実施報告書

1 第 4 回学校運営協議会の開催について

- (1) 開催日時 令和 3 年 2 月 1 6 日(火) 緊急事態宣言下により、書面による意見聴取
(2) 開催場所 本校 会議室

2 出席者した学校運営協議会委員の氏名・所属等及び出席状況 ※○は意見聴取

氏 名	所属等	出欠	氏 名	所属等	出欠
山田 俊朗	雲部地区自治会長会会長	○	今井 進	学識経験者	○
山本 晴朗	日置地区自治会長会会長	○	小野 輝久	城東小・幼PTA会長	○
今西 和義	後川地区自治会長会会長	○	児島 佳史	見守り隊コーディネーター	○
西家 幸男	篠山東青少年健全育成推進協議会会長	○	木村 暁	城東小学校校長	○
向井 祥隆	保護司会会長	○	藤本 豊記	城東小学校教頭	○
中野佳代子	学識経験者	○	木村 如宏	城東小学校主幹教諭	○

3 傍聴人数 (0) 名

4 主な協議事項及び主な意見内容 (審議の概要)

(1) 学校評価について (アンケート・考察結果をもとに委員からの意見)

- アンケート結果では、児童・保護者・教職員それぞれの立場が表れており、よく理解できた。少数でも本音で答えている児童に対してフォローが必要となる。
- 教職員の評価が児童・保護者に比べて低い。日本人の美德とされる謙遜にも見える。自信を持ってほしい。先生が楽しんで仕事をされることで児童もより安心して学校生活が送れる。お互い笑顔の確認を。
- 学校教育目標の具現化に向けて校長先生の話を受けて、各学年の担任が学年に応じた具体例を挙げて伝えることでより浸透していく。それをHPや学級通信でも伝えてほしい。
- 「基礎学力の定着」のためにどれくらい時間を使っているか振り返る必要がある。十分にできていないところは、以後の授業で補っていく必要がある。T1、T2の打ち合わせも大切。
- 児童が「受け身」になって学習や活動をしていることが多いのではないかと。教師の言うことを素直に受け止め実行していくことは大切だが、「自ら進んで」とか「積極的に」がもっと大事になってくる。そういう取り組みが感じられた時こそ「ほめる」ことを重ね、広げてほしい。

(2) 今年度の学校運営協議会のまとめ (活動報告・会計報告等々)

- イレギュラーの 1 年だったが、新しい生活様式としていくつかは定着していくのではないかと考える。
- 今年度はコロナ禍の状態にあって、学校に行けない時期もあったが、残りの期間で日常の学校生活を取り戻し、全体的に落ち着いた生活が送れたことは大変良かった。
- 地域人材の活用については、地域を良く知っている学校運営委員たちに相談をもちかけてらうとより推進していける。

5 今後の予定及び方向性

- 学校運営委員それぞれの次年度の継続・退任等意向確認。
(日置地区・後川地区で自治会長会長が交代予定)

6 次回開催予定

- (1) 開催日時 令和 3 年 5 月中旬
(2) 開催場所 城東小学校 会議室

